

準則例 10

上天草市龍ヶ岳山頂自然公園及び上天草市「ミューイ」天文台
 指定管理者 28年度 管理運営評価票

所管部課：経済振興部 観光おもてなし課

I 施設の管理概要

指定管理者名	NPO法人天草元気工房	
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（1年目）	
施設概要	設置目的	（上天草市龍ヶ岳山頂自然公園） 地域住民に自然を楽しむ機会を提供することにより、自然を愛する思想を涵養し、健康増進に資するとともに、上天草市のイメージを高め、併せて教育、文化及び観光事業の発展につなげることを目的とする。 （上天草市「ミューイ」天文台） 天文の普及並びに学校教育及び社会教育の充実強化を図り、青少年の健全育成及び観光振興の発展に期することを目的とする。
	施設区分	小規模専門施設 公園、キャンプ場及び天文台 【施設の内容】 （龍ヶ岳山頂自然公園） バンガロー（6人用：2棟、4人用8棟）、ロジ4棟、炊事棟1棟、野営場、シャワー棟1棟、トイレ4棟、駐車場等 （天文台施設内設備） 大型望遠鏡、小型望遠鏡、映像ホール、プラネタリウム、事務室、トイレ
指定管理料	7,091,280円	

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
施設利用者の人数 （ミューイ天文台・龍ヶ岳山頂自然公園）	3,200人 （1,600人・1,600人）	2,257人 （1,350人・907人）	
【点検・調査結果及び評価】 平成28年度においては、熊本地震の影響もあり目標値に達していないが、引き続き、施設の特性や恵まれた環境を活かし、利用促進に努める必要がある。			

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	実施日	内容
清掃	毎日	宿泊棟、管理棟、便所・シャワー棟棟、炊飯棟 清掃、天文台施設館内・周辺環境整備
	必要な都度 年1回（H29.3.8）	駐車場、消耗品の補給 貯水槽の清掃

保守・点検	毎日 毎月 年1回 必要な都度	浄化槽、空調衛生設備、消防用設備日常保守 浄化槽定期点検（委託） 浄化槽定期清掃（委託） 給排水施設の管理、消防施設・防火水槽の点検
保安・警備	開園時 緊急時	開園中の警備、巡回警備 夜間等の緊急時出動
消防用設備	毎日 必要な都度 年2回	日常保守管理 消防施設・防火水槽の点検 消火設備定期点検（委託）
施設維持管理	毎日 必要な都度 必要な都度 必要な都度 年1回（H28.11.10～11） 2年に1回	日常的な清掃、備品管理 エアコン・シャワー点検、物品の管理 照明装置の維持管理・交換、軽微修繕 消耗品の補給 大型望遠鏡保守点検業務、調光装置保守点検 プラネタリウム保守点検
その他	毎日 必要な都度	貸出物の管理 利用料金の徴収、ごみ収集、
【点検・調査結果及び評価】 協定書、仕様書に基づき概ね適正に管理していると認められる。		

② 運営事業実績

[主な事業・イベント]

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内 容
天文台 セタイイベント	H28.7.3 ～H28.7.7	16人	特別プラネタリウム上映 粗品プレゼント
熊本県母子寡婦福祉連合会 キャンプ「キッズチャレンジ！わくわく野外研修」	H28.7.30 ～H28.7.31	50人	野外体験（竹ブランコづくり、 ペットボトルロケットづくり、 魚さばき、バームクーヘンづくり） を地域ボランティアと共に 実施。天体観測も実施。
天文台 ハロウィンイベ ント	H28.10.22 ～H28.10.30	41人	職員によるマジックショーと 手作りバンブーランタン展示、 ミニゲームで粗品プレゼント
棚田ふれあい探訪ツアー	H28.10.29	37人	特別プラネタリウム上映
天文台 クリスマスイベ ント	H28.12.23 ～H28.12.25	21人	クリスマスオブジェづくりと 粗品プレゼント
トレッキングフェスティバ ル天文台開放	H29.2.26	200人	天文台の開放と婦人会による 昼食のもてなし
全国プラレアリウム 33	H27.5 月から実 施	30人	全国のプラレアリウムの「レ ア」施設と選定され参画
【点検・調査結果及び評価】 天文台の特性を生かした事業展開や地域と連携した熊本県母子寡婦福祉連合会の受け入れ等、 利用促進に努めていることは評価できる。			

※施設の維持管理業務のみを行う施設は、記載不要

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
		開館日数	365 日	366 日
ミュージイ天文台	利用可能日数	306 日	306 日	100%
	利用日数	176 日	186 日	95%
	利用率	58%	61%	95%
	入場者数	1,350 人	1,673 人	81%
龍ヶ岳山頂自然公園	利用可能日数	365 日	366 日	100%
	利用日数	73 日	68 日	107%
	利用率	20%	19%	108%
	入場者数	907 人	1,477 人	61%

【点検・調査結果及び評価】

ミュージイ天文台、龍ヶ岳山頂自然公園の利用者が共に減少している。天文台については、全国のプラレアリウム 33 の施設として選定されていること、また、龍ヶ岳山頂自然公園では景観の良さや恵まれた自然環境などの強みを活かし、より積極的な情報発信やイベント企画により利用促進に繋げる努力を求めたい。

※施設入場料や使用料等を徴収しない等のため入場（利用）者数が把握できない場合は、「入場者数」欄を削除する等、施設の利用形態に応じて適宜様式は変更すること。

4 管理経費の収支状況

① 収入

項目	内 訳	金額（円）	
利用料金収入	キャンプ場	施設利用料、バーベキュー用具貸出料、木炭販売、コインシャワー利用料	1,847,260
	天文台	入館料（プラネタリウム視聴・天体観測）	429,100
指定管理料	平成 27 年度指定管理料	7,091,280	
その他	預金受取利子、補助金等	24,298	
合 計		9,391,938	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	2,276,360	

② 支出

項目	内 訳	金額（円）
人件費	給料 等	5,483,060
維持管理費	消耗品費、販売商品費、図書費、燃料費、光熱水費、修繕費、通信運搬費、手数料、保険料、業務委託料、広告宣伝費 等	3,664,481
事業費	イベント経費	105,107
合 計		9,252,648

【点検・調査結果及び評価】

施設の維持管理のために必要な支出がなされており、特に問題点は認められない。

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日											
	調査方法	筆記回答式アンケート ・ キャンプ場各宿泊棟にアンケート用紙設置 ・ ミューイ天文台玄関にアンケート用紙設置											
	調査対象者数	利用者：キャンプ場 907 人 天文台 1,350 人 回答者数 17 人											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		とてもよい		よい		普通		あまりよくない		悪い		わからない	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
	サービス全般	13	76	3	18			1	6				
【調査結果及び評価】 調査結果は、概ね評価は良好である。しかしながら、調査数が少ないため、調査数を増やす工夫を行い、管理運営改善へ繋げる必要がある。													

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改 善 状 況
車道の木が伸びバスなど大型車両の通行がしにくい。	適宜、樹木の剪定を行っているが、高所への対応は限界があるため苦慮している。安全面にも考慮するため、高枝ノコでの剪定作業が限界である。 また、利用者からの要望は山頂公園内だけではなく、下から山頂まで道路全般の事を指しているため、上天草市の道路管理者が高所作業車などを使った一括選定作業の計画などが必要と思われる。
頂上屋外トイレ棟が老朽化のため不衛生に見え利用したくない。	毎日、始業前に清掃をしており、害虫駆除剤散布などの対応をしている。また、天文台のトイレを利用している。
宿泊棟（ロッジ）にトイレ故障が発生して困った。テレビと電子レンジも必要。	故障の発生状況を確認したところ、簡易水洗トイレのタンクへ流入する水の勢いが強すぎて水羽が発生していたようであったため、水量を調整した。テレビについては、指定管理者で協議を行った結果、キャンプ場では普段の生活と違った体験をしてほしいことから置かない方針である。なお、防災情報の入手については、全てのロッジにラジオを設置しているところ。また、電子レンジについては、予算の範囲内で検討していく。
【調査結果及び評価】 利用者からの意見苦情等に適切に対応しており、概ね適正に運営管理していると認められる。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指 摘 事 項	改 善 内 容
公園の利用者数が減少しており、利用促進につながる事業や広報活動に努める必要がある。	オフシーズンには、天文台でミニイベントを開催し、SNSなどで情報発信を行った。それを見て利用につながったケースもあった。
アンケート調査数が少ないため、調査数を増やし、管理運営改善につなげる必要がある。	前年度は、単一イベント参加者へのアンケート実施のみであったが、平成28年度からは天文台玄関と宿泊棟全てにアンケート用紙を設置し、回答数を増やすように努めたが、思うような結果は得られなかった。
【調査結果及び評価】 SNSを使って情報発信を行うなど、情報の受け側の立場を考えており、改善に取り組む姿勢は評価できる。アンケート調査については、大勢の利用客が見込まれる日などに、利用者に対し積極的にアンケートの協力を依頼するなど改善対策を行う必要がある。	

8 その他

特になし